

総合教育会議

「美里町立小学校適正規模等検討委員会経過報告」

美里町教育委員会

令和3年1月28日（木）

本日の流れ

- 1 美里町立小学校適正規模等検討委員会について
 - (1) 趣旨
 - (2) これまでの検討事項
 - (3) 近隣市町の動き
- 2 美里町の状況について
 - (1) 児童数・生徒数の将来予測
 - (2) 小学校1年生入学児童数の将来予測
 - (3) 学校規模
- 3 学校規模がもたらす影響について
 - (1) 小規模校について
 - (2) 複式学級
 - (3) 学校種の例
- 4 学校視察
 - (1) 大沢小学校通学区及び東児玉小学校
 - (2) 皆野町立三沢小学校（複式学級）
 - (3) 坂戸市立城山学園（小中一貫）
 - (4) 春日部市立江戸川小中学校（義務教育学校）
- 5 施設維持及び新設の場合の費用推計について
- 6 参考となる自治体

1 美里町立小学校適正規模等検討委員会について

(1) 趣旨

美里町立小学校適正規模等検討委員会設置要綱

(趣旨及び設置)

第1条 美里町立小学校の将来におけるより良い教育環境と充実した学校教育実現のための適正な規模、配置等を検討するため、美里町立小学校適正規模等検討委員会（以下「検討委員会」という。）を設置する。

1 美里町立小学校適正規模等検討委員会について

(2) これまでの検討事項

第1回

現在の美里町の児童生徒数及び学級数の状況と将来の見通しについて

第2回

小・中学校の適正規模・適正配置の概要について

近隣市町の動き

義務教育学校と小中一貫校について

第3回

大沢小学校の様子及び通学区視察

第4回

坂戸市立城山

学園視察報告（小中一貫校）

皆野町立三沢小学校視察報告（複式学級設置校）

第5回

東児玉小学校視察

施設維持及び新設の場合の費用推計について

同規模自治体の実例について

第6回（予定）

松久小学校視察

春日部市立江戸川小中学校視察報告

1 美里町立小学校適正規模等検討委員会について

(3) 近隣市町の動き

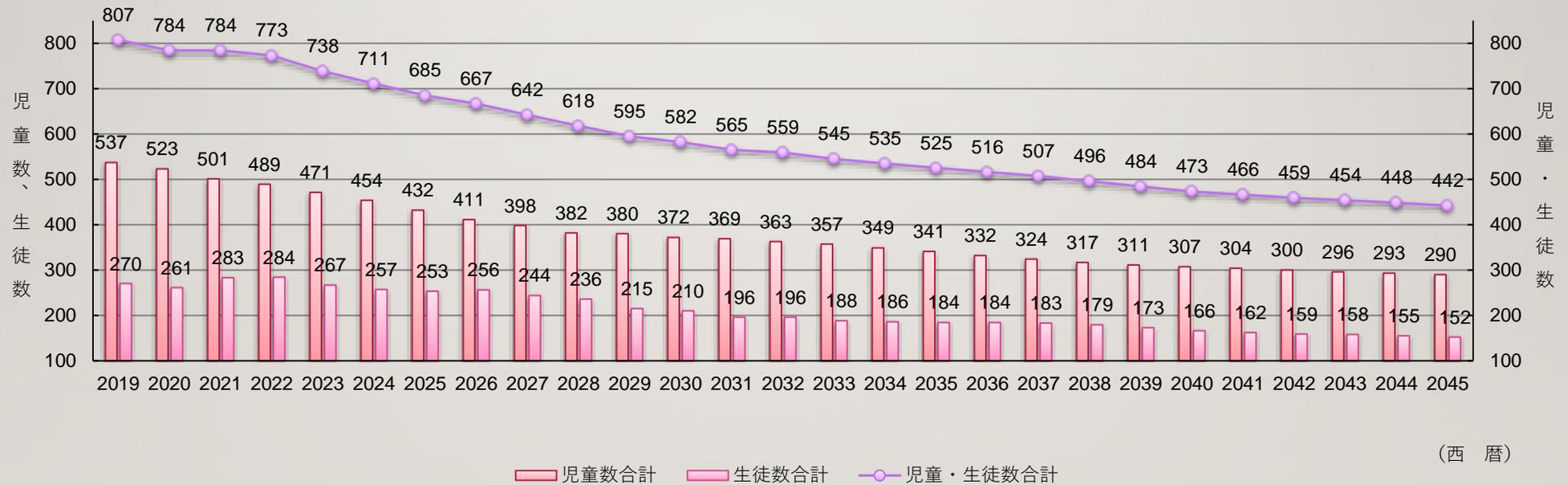
	適正規模等検討委員会関連の動き
秩父市	予定なし
横瀬町	
小鹿野町	令和元年度 小鹿野町学校教育推進協議会【広報2月号掲載】 令和2年度 小学校地区学校教育推進協議会
皆野町	予定なし
長瀬町	令和2年度 長瀬町学校の在り方検討委員会
本庄市	予定なし
上里町	予定なし
神川町	令和2年度 小学校適正規模検討委員会
熊谷市	平成29年10月 熊谷市立学校適正規模審議会（平成30年8月答申） 平成30年11月 熊谷市立学校の適正な規模に関する基本方針 ※統合（案）を示す。①（成田小・星宮小） 令和5年 ②（男沼小・太田小・妻沼南小） 令和7年 ③（長井小・秦小） 令和9年 ④（吉岡小・市田小） 令和11年 ⑤（吉岡中・大里中） 令和11年 令和元年7月より 地域説明会 令和2年4月 成田小学校・星宮小学校統合準備委員会 （令和5年4月統合予定）
深谷市	予定なし
寄居町	平成28年度 未来を拓く学校教育検討委員会

東松山市	令和元年8月 東松山市立小・中学校適正規模審議会（継続中）
滑川町	予定なし
嵐山町	平成29年8月 嵐山町立小中学校適正規模等検討委員会 （平成31年1月答申） 令和元年8月 嵐山町立学校適正規模等基本計画（素案） 令和元年10月より 地域説明会
小川町	平成28年10月 小川町立小・中学校適正規模研究会 （平成30年2月報告書） 平成28年 「学校規模に係る教育の現状と課題」 教職員アンケート公表 平成29年3月 「学校規模等に係る教育の現状と今後の在り方に関する」 学校管理職・教職員アンケート結果公表 平成30年7月 町立小・中学校の適正規模・適正配置検討基本方針 平成30年9月 町立小中学校全保護者対象アンケート実施 平成30年9月より 地区説明会 平成31年2月 学校再編審議会（令和2年6月短期計画答申）
川島町	平成25年6月 川島町学校規模適正化検討委員会（基本方針報告） 平成26年11月 川島町立小学校規模適正化基本方針 平成27年5月より 地区説明会 平成28年1月 川島町立小学校規模適正化計画（案） 平成28年2月 川島町立小学校規模適正化計画 平成28年3月 川島町議会議定例会 「川島町立小中学校設置条例の一部を改正する条例」可決 平成30年4月 三保谷小・出丸小・八ツ保小・小見野小を つばき南小・つばき北小へ統合
吉見町	平成元年度 吉見町立学校在り方研究協議会（継続中）
鳩山町	予定なし
ときがわ町	予定なし
東秩父村	

2 美里町の状況について

(1) 児童数・生徒数の将来予測

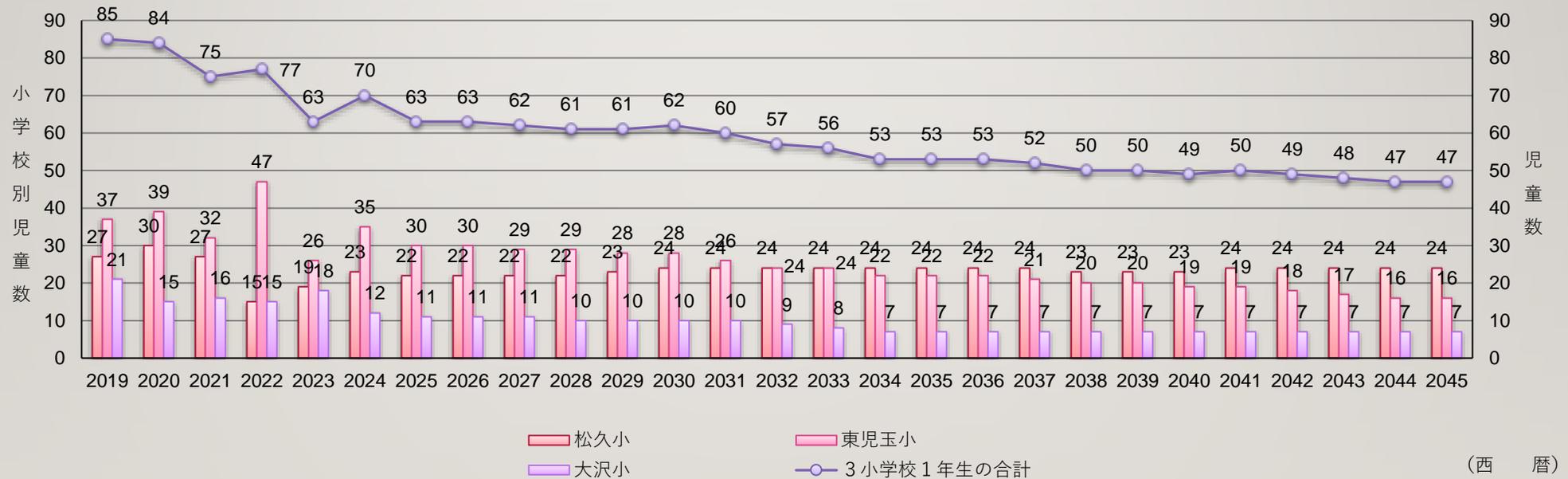
美里町の将来における児童・生徒数推計



2 美里町の状況について

(2) 小学校1年生入学児童数の将来予測

美里町の将来における小学1年生児童数の推計



学級編制について

学級編制

「公立義務教育諸学校の学級編制及び教員定数の標準に関する法律」第3条に規定されている、1学級の児童生徒数（40人）を基準とし、各都道府県教育委員会が定めることとされています。

学級編制基準			埼玉県学級編制の特例						
項目	小学校		中学校	項目	小学校			中学校	
	第1学年	第2学年 ～6学年	全学年		第1学年	第2学年	第3学年 ～6学年	第1学年	第2学年 ～3学年
単式	35人	40人	40人	単式	35人	35人	40人	38人	40人
複式	8人	16人	8人	複式	8人		16人	8人	
特別支援学級	8人			特別支援学級	8人				

2 美里町の状況について

(3) 学校規模

学校規模

学校の規模に関しては、学校教育法施行規則で標準的な学級数を定めており、小学校12～18学級（1学年2～3学級）、中学校12～18学級（1学年4～6学級）と規定されています。（特別支援学級の学級数を除く）

○学校教育法施行規則

第41条 小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。

○義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令

（適正な学校規模の条件）

第4条 法第3条第1項の第4号の適正な規模の条件は、次の各号に掲げるものとする。

- （1）学級数がおおむね12学級から18学級までであること。
- （2）通学距離が、小学校にあってはおおむね4km以内、中学校にあってはおおむね6km以内であること。

学校規模	過小規模	小規模	適正規模	大規模	過大規模
学級数	1～5	6～11	12～18	19～30	31～
松久小学校		6			
東児玉小学校		10			
大沢小学校		6			

2 美里町の状況 (3) 学校規模

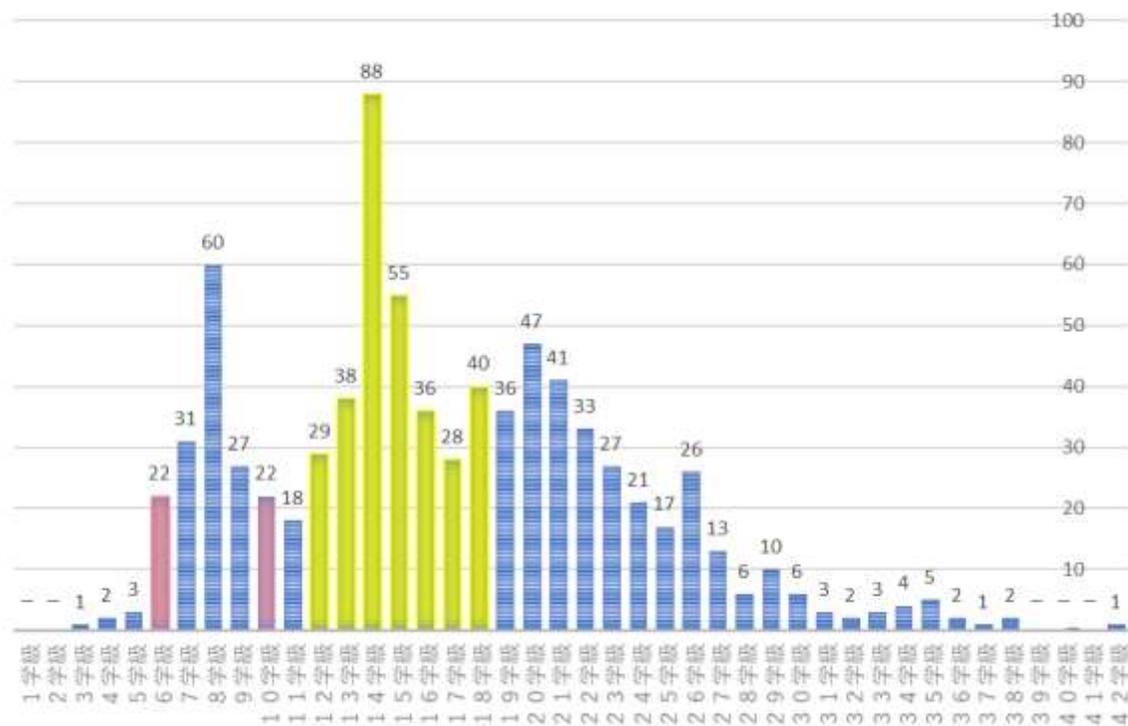
学校基本調査（令和元年5月）埼玉県小学校、学級数別学校数（公立）

区分	本校	区分	本校	区分	本校
計	808	14学級	88	29学級	10
0学級	2	15学級	55	30学級	6
1学級	—	16学級	36	31学級	3
2学級	—	17学級	28	32学級	2
3学級	1	18学級	40	33学級	3
4学級	2	19学級	36	34学級	4
5学級	3	20学級	47	35学級	5
6学級	22	21学級	41	36学級	2
7学級	31	22学級	33	37学級	1
8学級	60	23学級	27	38学級	2
9学級	27	24学級	21	39学級	—
10学級	22	25学級	17	40学級	—
11学級	18	26学級	26	41学級	—
12学級	29	27学級	13	42学級	1
13学級	38	28学級	6	43学級以上	—

小学校 学校規模別集計

学級数	校数	割合	
1～11	186	23.1%	過少・小規模
12～18	314	39.0%	適正規模
19～43	306	38.0%	過大・大規模
全体	806	100.0%	

埼玉県小学校、学級数別学校数（公立）



3 学校規模がもたらす影響について

(1) 小規模校について

メリット

- ① 一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい
- ② 意見や感想を発表できる機会が多くなる
- ③ 様々な活動において、一人一人がリーダーを務める機会が多くなる
- ④ 複式学級においては、教師が複数の学年間を行き来する間、児童生徒が相互に学び合う活動を充実させることができる
- ⑤ 運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える
- ⑥ 教材・教具などを一人一人に行き渡らせやすい。例えば、ICT機器や高価な機材でも比較的少ない支出で全員分の整備が可能である
- ⑦ 異年齢の学習活動を組みやすい、体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる
- ⑧ 地域の協力が得られやすいため、郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい
- ⑨ 児童生徒の家庭の状況、地域の教育環境などが把握しやすいため、保護者や地域と連携した効果的な生徒指導ができる

3 学校規模がもたらす影響について

(1) 小規模校について

デメリット

- ① 集団の中で自己主張をしたり、他者を尊重する経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身につきにくい
- ② 児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすい
- ③ 協働的な学びの実現が困難となる
- ④ 教員それぞれの専門性を生かした教育を受けられない可能性がある
- ⑤ 切磋琢磨する環境の中で意欲や成長が引き出されにくい
- ⑥ 教員への依存心が強まる可能性がある
- ⑦ 進学等の際に大きな集団への適応に困難を来す可能性がある
- ⑧ 多様な物の見方や考え方、表現の仕方に触れることが難しい
- ⑨ 多様な活躍の機会がなく、多面的な評価の中で個性を伸ばすことが難しい

3 学校規模がもたらす影響について

(2) 複式学級

学級数による学校規模の分類

(公立小・中学校の国庫負担事業認定申請の手引きから引用)

複式校 (極小規模校)

小学校：2 個学年を合わせて 16 人以下の複式学級で構成される 3 学級以下の学校

中学校：2 個学年を合わせて 8 人以下の学級と他の学年を合わせて 2 学級以下の学校

小中併置校

小学校と中学校が 1 人の校長のもとに同一校舎で教育活動が行われる。

「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」(平成 27 年 1 月 27 日文部科学省)

11 ページ

【1～5 学級：複式学級が存在する規模】

おおむね、複式学級が存在する学校規模。学校全体の児童数や指導方法等にもよるが、一般に教育上の課題が極めて大きいため、学校統合等により適正規模に近づけることの適否を速やかに検討する必要がある。地理的条件等により統合困難な事情がある場合は、小規模校のメリットを最大限生かす方策や、小規模校のデメリットの解消策や緩和策を積極的に検討・実施する必要がある。

3 学校規模がもたらす影響について

(3) 学校種の例

義務教育学校

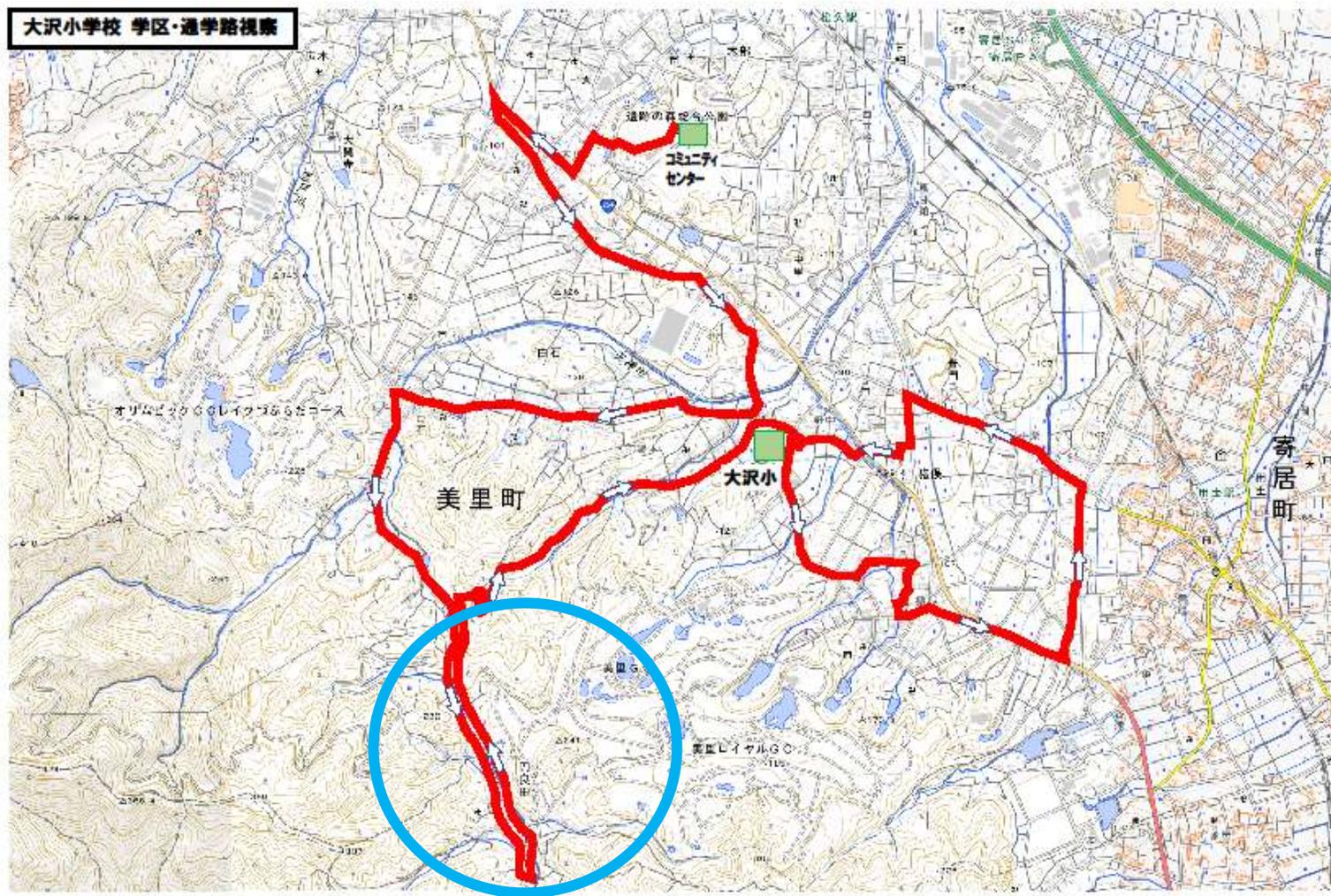
- 校長は1人。9学年の校務を一人の校長がつかさどる。
- 標準学級数は1校あたり18～27学級。
- 小学校と中学校の両方の免許を持っていることが必要。

小中一貫校

- 既にある小中学校を組み合わせで一貫教育を行う。
- 学校の立地によって施設形態がわかる。
 - (1) 施設一体型 → 同一の校舎
 - (2) 施設隣接型 → 隣接する小中
 - (3) 施設分離型
 - 離れた場所にある小中それぞれ学校に校長、教職員（それぞれ所属の免許を所有）

4 学校視察

(1) 大沢小学校（通学区含む）及び東児玉小学校



4 学校視察

(2) 皆野町立三沢小学校 【複式学級】

【児童数】								
小学校	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計
人数	5	5	5	8	7	5	うち2	35
学級数	1	1	1		1		2	6

平成24年度より複式学級を実施（1-2年8名）。

平成25年度より2クラス複式（1-2年7名、3-4年15名）

平成26～28年度は2クラス実施。（2-3年、4-5年）

平成29年度より5年生3名、6年生3名のため、

複式の学年を3-4年と5-6年に変更し、現在に至る。

令和4年度には全学年が複式学級になる予定。

【職員数】		
	職名	学年等
県費	1 校長	
	2 教頭	
	3 教諭	教務主任
	4 教諭	1年1組
	5 教諭	2年1組
	6 教諭	おおざり1組
	7 教諭	3・4年1組
	8 教諭	おおざり2組
	9 教諭	5・6年1組
町費	10 養護教諭	
	11 拠点校指導教員	
	12 事務主事	
	13 非常勤講師（複式解消）	
	14 エキスパート教員	
	15 学校教育指導員等理科実験観察アシスタント	
	16 小学校英語指導員	
	17 学習支援員	
	18 学習支援員	
	19 校務員	

4 学校視察（2）皆野町立三沢小学校【複式学級】 授業時間割

皆野町立三沢小学校 時間割例（参考）

1年						2年					
月	火	水	木	金		月	火	水	木	金	
1	国語	国語	国語	算数	国語	1	国語	国語	国語	国語	国語
2	算数	音楽	算数	国語	音楽	2	算数	音楽	算数	算数	音楽
3	体育	算数	生活	図工	国語	3	体育	算数	学活	図工	算数
4	書写	体育	国語	道徳	生活	4	国語	体育	生活	生活	国語
5	生活	国語	学活	体育	図工	5	道徳	生活	国語	体育	図工
6	補習			外国語		6		クラブ委員会	外国語		外国語

3年						4年					
月	火	水	木	金		月	火	水	木	金	
1	国語	音/理	国語	国語	国語	1	国語	音/社	国語	国語	国語
2	算数	国語	体育	算数	理科	2	算数	国語	体育	算数	外国語
3	社会	算数	算数	総合	音楽	3	理科	算数	算数	総合	音楽
4	体育	書写	社会	理科	算数	4	体育	理科	社会	社会	算数
5	学活	道徳	図工	国語	外国語	5	学活	道徳	図工	国語	書写
6	図/理	総合	クラブ委員会	外国語	体育	6	図/社	総合	クラブ委員会	理科	体育

5年						6年					
月	火	水	木	金		月	火	水	木	金	
1	算数	書写	算数	算数	算数	1	算数	理科	算数	算数	算数
2	理科	理科	理科	体育	道徳	2	社会	社会	書写	体育	道徳
3	社会	家/音	社会	外国語	国語	3	理科	家/音	外国語	社会	国語
4	国語	算数	外国語	総合	音楽	4	国語	算数	理科	総合	音楽
5	図工	総合	国語	家庭	社会	5	図工	総合	国語	家庭	外国語
6	体育	国語	クラブ委員会	図/体	学活	6	体育	国語	クラブ委員会	図/体	学活

特別支援学級 1						特別支援学級 2					
月	火	水	木	金		月	火	水	木	金	
1	国語	生単	国語	国語	生単	1	生単	音/社	国語	生単	生単
2	算数	音楽	算数	算数	音楽	2	算数	国語	体育	算数	外国語
3	体育	算数	学活	図工	算数	3	理科	算数	算数	総合	音楽
4	国語	体育	生活	生活	国語	4	体育	理科	社会	社会	算数
5	自立	生活	国語	体育	図工	5	学活	自立	図工	国語	書写
6		書写		外国語		6	図/社	総合	クラブ委員会	理科	体育

4 学校視察

(3) 坂戸市立城山学園【小中一貫】

【児童・生徒数】								
小学校	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計
人数	18	18	15	17	31	27	2	128
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7
中学校	7年	8年	9年	計				
人数	22	22	35	79				
学級数	1	1	1	3				

【職員数】			
職名	学年等		教科等
1 校長		小中兼務	
小学校		中学校	
2 教頭			22 教頭
3 教諭	教務主任		23 教諭
4 教諭	1年1組		24 教諭
5 教諭	2年1組		25 教諭
6 教諭	3年1組		26 教諭
7 教諭	4年1組		27 教諭
8 教諭	5年1組		28 教諭
9 教諭	6年1組		29 教諭
10 教諭	ゆずのき		30 教諭
11 教諭	教務		31 教諭
12 養護教諭			32 教諭
13 事務主査			33 養護教諭
14 学習支援員			34 養護教諭
15 学習支援非常勤講師	小中兼務		35 栄養教諭
16 英語活動指導員			36 事務主事
17 読書活動支援員	小中兼務		37 非常勤講師
18 スクールカウンセラー			38 さわやか相談員
19 市費事務	小中兼務		39 スクールカウンセラー
20 校務員	小中兼務		40 ALT
21 校務員	小中兼務		

